

1996年1月の地震活動について

1 主な地震活動

三陸はるか沖、択捉島沖などでM5～M6クラスの地震活動があったほかは、全般的に静穏であった。北海道松前沖の群発地震活動は今期間は低いレベルであり、地殻変動も収まっている。

2 各地方別の地震活動

(1) 北海道地方

択捉島沖の余震活動が続いている。松前沖の群発地震活動は低下傾向である。

○1995年10月1日に始まった松前沖の群発地震活動は、活動域が沖合に移動する傾向を示すとともに、発生回数が段階的に減少の傾向であり、今期間は低いレベルでの活動が続いている。GPSによれば、10月上旬から松前が北方に約1cm移動する地殻変動が観測されていたが、12月頃から変動が収まっている。

過去のこの付近の群発活動によると、活動が長期間にわたるとともに、消長を繰り返す傾向があり、活動の低下傾向が直ちに群発地震活動の終息につながるとはいえない。

○1995年12月4日択捉島沖でM7.2の地震があり、直後にM6クラスを含む活発な余震活動が続いたが、活動は順調に減少している。2月1日にM6.2の余震があったが、余震活動の低下傾向に変化はなかった。

○1994年北海道東方沖地震(M8.1)の余震域北東部に隣接する択捉島沖で1月22日にM5.5の地震があった。

(2) 東北地方

先月に引き続き1994年三陸はるか沖地震の余震域で1月22日にM5.0、M4.8の余震活動があったほかは、顕著な地震活動はなかった。

(3) 関東・中部地方

顕著な地震活動はなかった。

○駿河湾付近は1995年10月29日以降M3以上の地震の発生はなかったが、1月16日に駿河湾中央部でM3.1、1月18日石廊崎付近でM3.1の地震があった。

GPSによる掛川・御前崎周辺の基線長には特に変化は観測されていない。

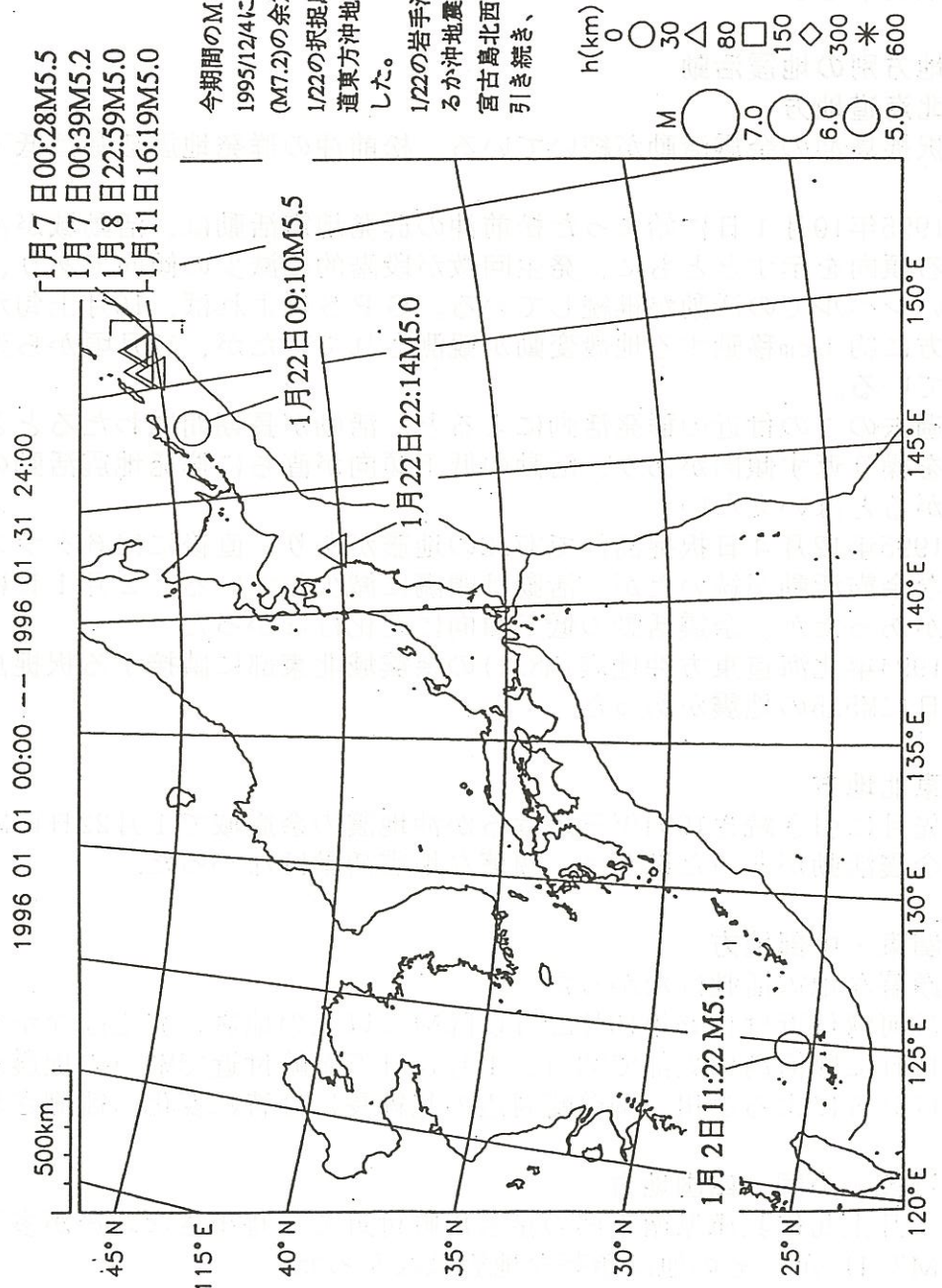
(4) 近畿・中国・四国地方

1月上旬に兵庫県南東部の猪名川町付近で一時小さな地震が多発した(最大M3.4)が、その他は顕著な地震はなかった。

(5) 九州・沖縄地方

1月2日宮古島北西沖でM5.1の地震、4日石垣島近海で最大M4.7の活動があったほかは、顕著な地震活動はなかった。

全国 $M \geq 5$ (1996/1/1 - 1996/1/31)



今期間の $M \geq 5.0$ の地震は7個で、うち4個は1995/12/4に発生した択捉島南東沖の地震(M7.2)の余震である。

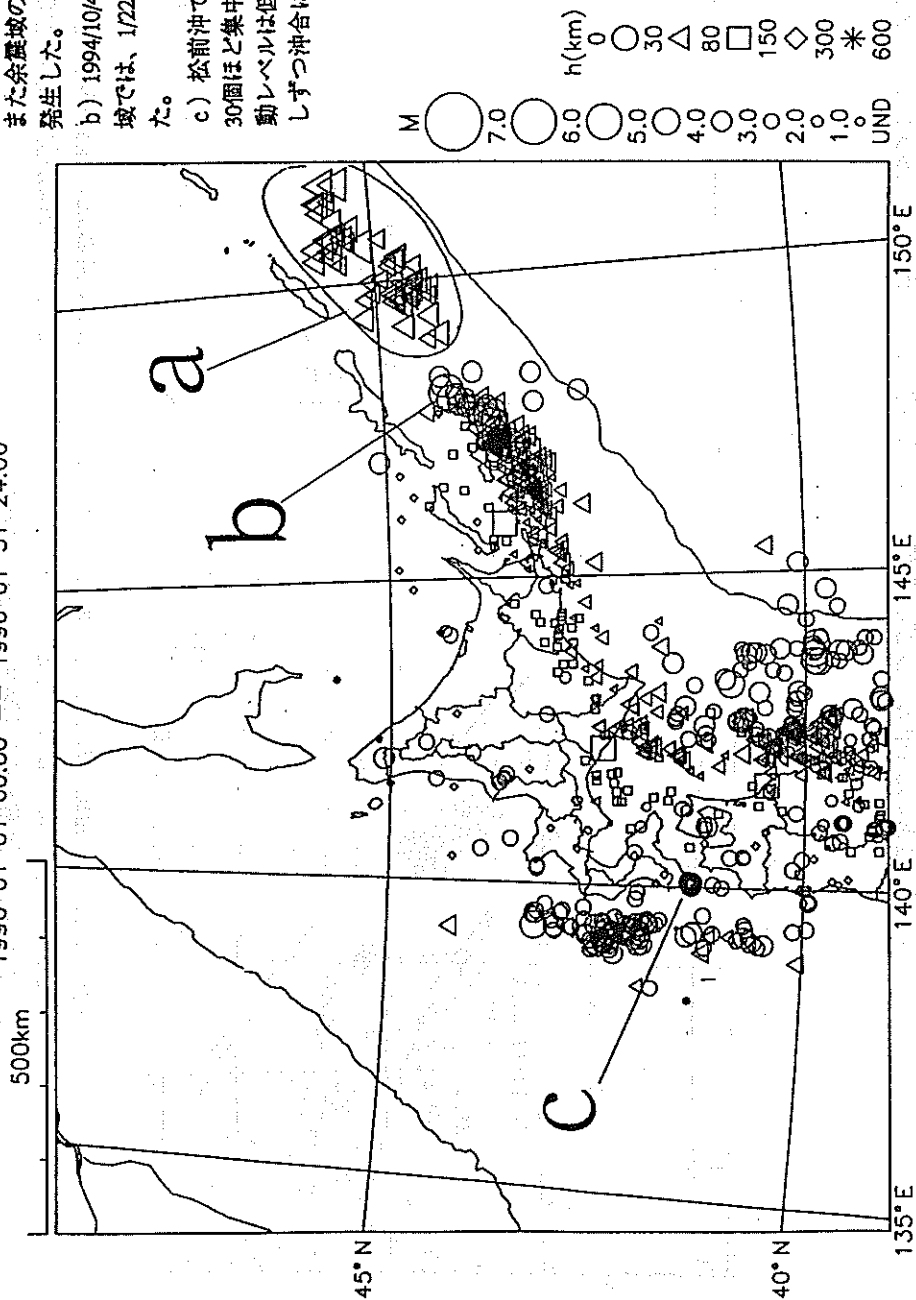
1/22の択捉島付近の地震M5.5は1994/10/4北海道東方沖地震(M8.1)の余震域の北東端で発生した。

1/22の岩手沖の地震(M5.0)は1994/12/28三陸はるか沖地震(M7.5)の余震域で発生した。

宮古島北西沖で、1995/12/30のM5.7の地震に引き続き、1/2にM5.1の地震が発生した。

北海道地方

1996 01 01 00:00 -- 1996 01 31 24:00

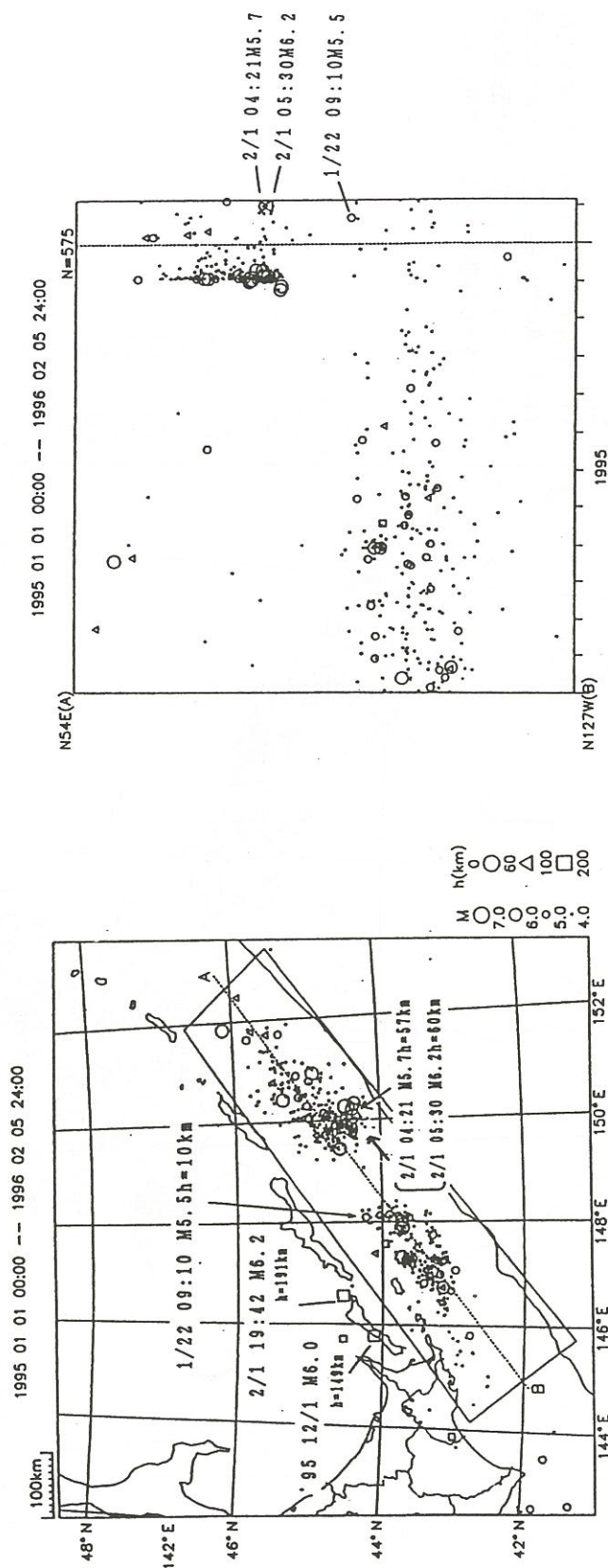


a) 1995/12/4に発生した択捉島南東沖の地震(M7.2)の余震域でM $\geq$ 5.0の地震が4個発生した。また余震域の南西端付近で2/1にM5.7,M6.2が発生した。

b) 1994/10/4北海道東方沖地震(M8.1)の余震域では、1/22に北東端でM5.5の地震が発生した。

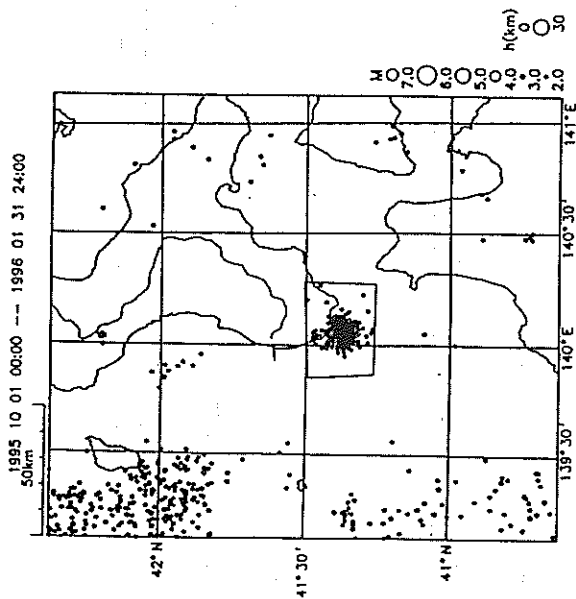
c) 松前沖では1/13-14にM2クラスの地震が30個ほど集中的に発生したが、全体的には活動レベルは低くなっている。また活動域は少しずつ沖合に移動しているように見える。

北海道東方沖から択捉島沖にかけての活動 (1995/1-1996/1)

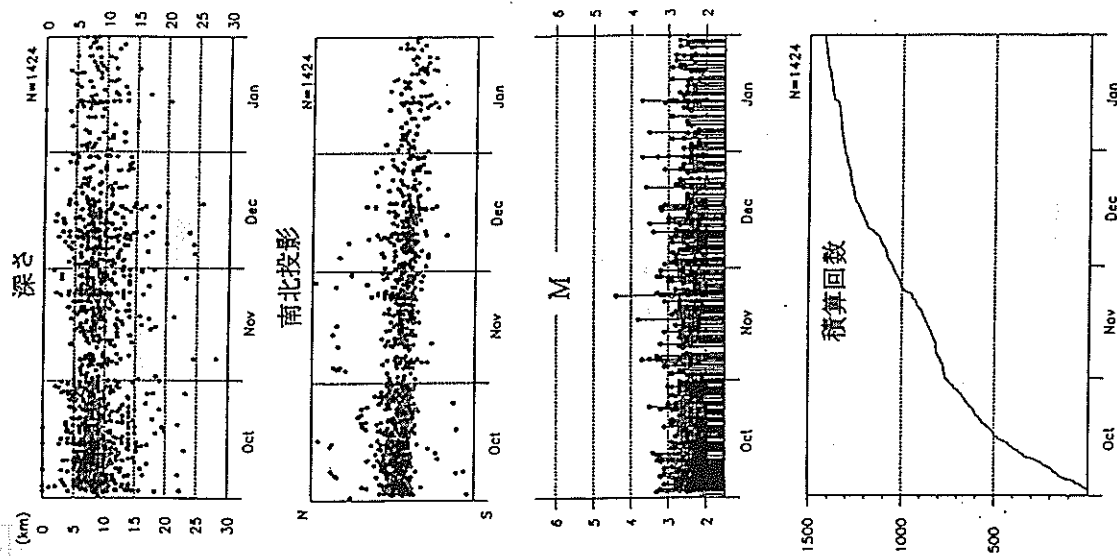


- a) 1995/12/4に発生した択捉島南東沖の地震(M7.2)の余震域で $M \geq 5.0$ の地震が4個発生した。また余震域の南西端付近で2/1にM5.7, M6.2が発生した。このほか国後島付近で2/1にやや深い地震M6.2 (深さ191km) が発生した。
- b) 1994/10/4北海道東方沖地震(M8.1)の余震域では1/22に北東端でM5.5の地震が発生した。またこの余震域での活動レベルについては、択捉島南東沖の地震(12/4 M7.2)の前1ヶ月程度静かであり、1月中旬以降は元のレベルに戻っている。

松前沖群発活動 (1995/10 - 1996/1)



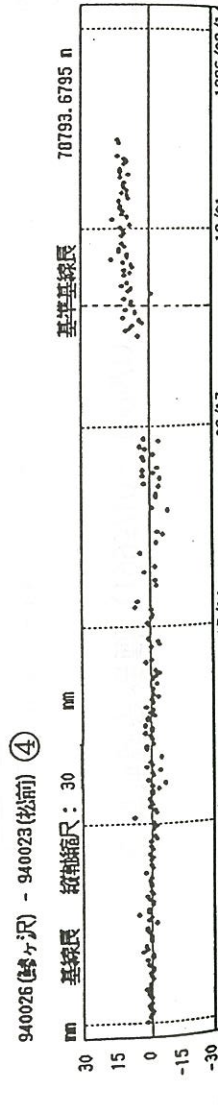
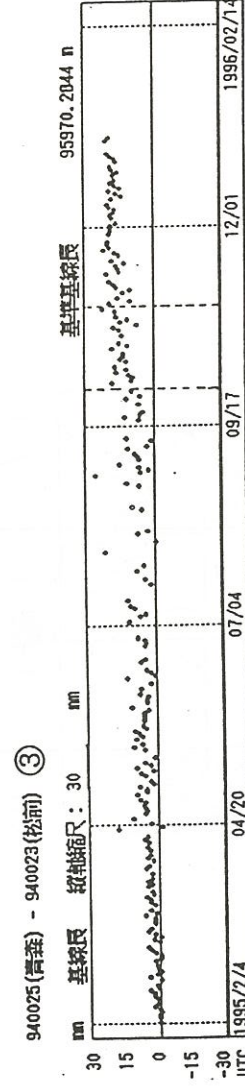
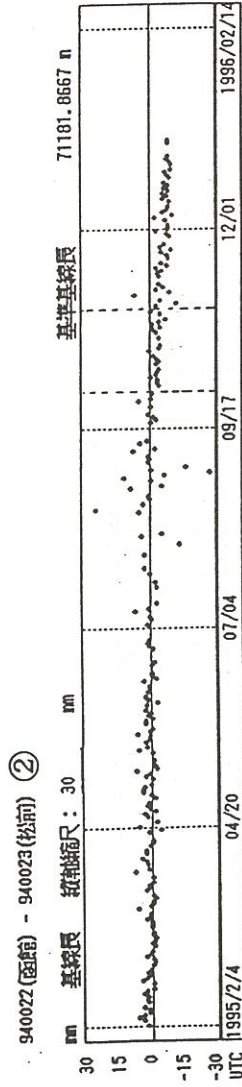
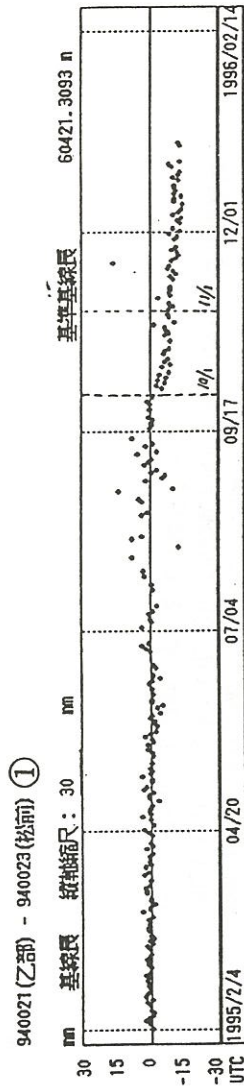
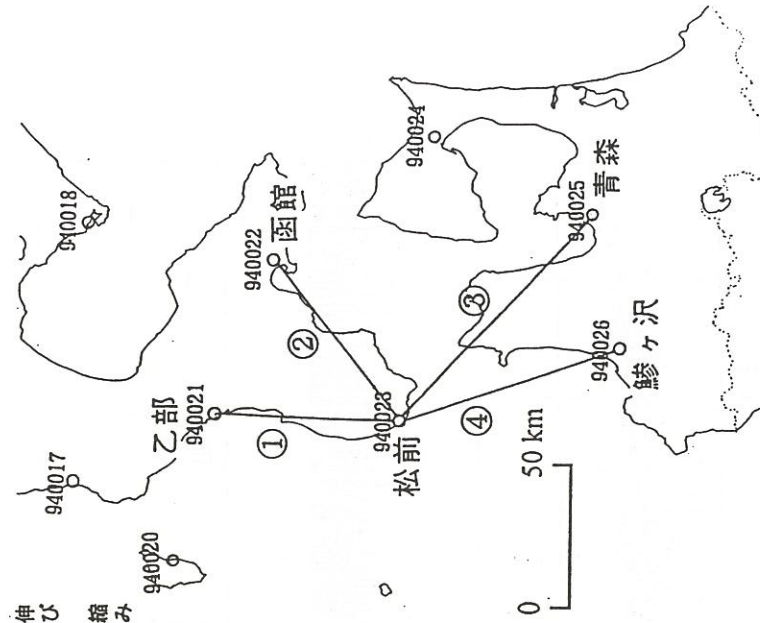
松前沖では1/13-14にM2クラスの地震が30個ほど集中的に発生したが、全体的には12月半ば頃からの活動レベルの低下傾向が続いている。また活動域は少しずつ沖合に移動しているように見える。



基線長変化 精密P-1用

GPS連続観測 松前周辺

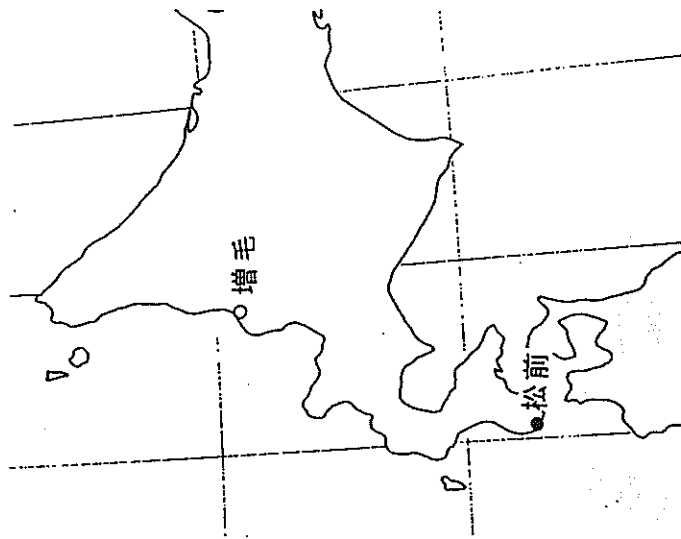
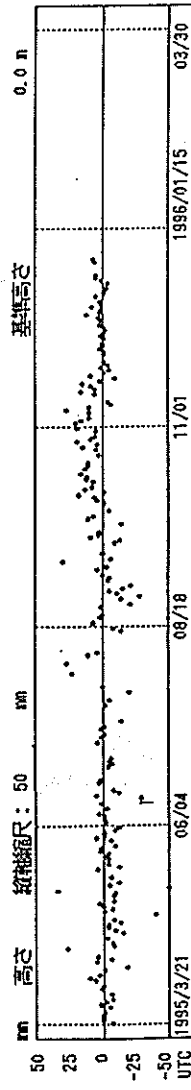
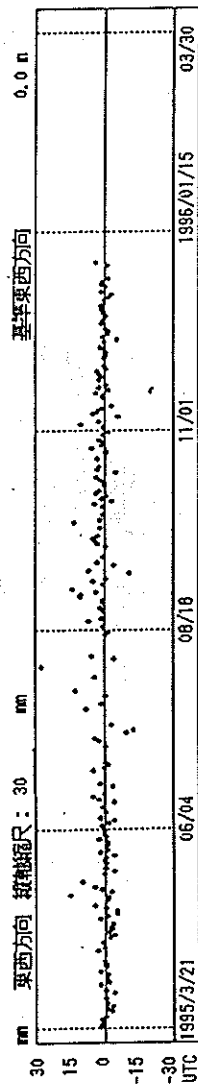
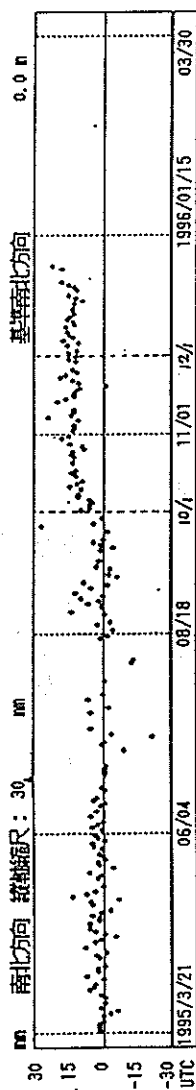
基線図



松前付近の基線については、10月初旬頃から辺長変化が見られたが、12月以降大きな変化は認められない。

GPS連続観測による松前点の位置変化（増毛固定）

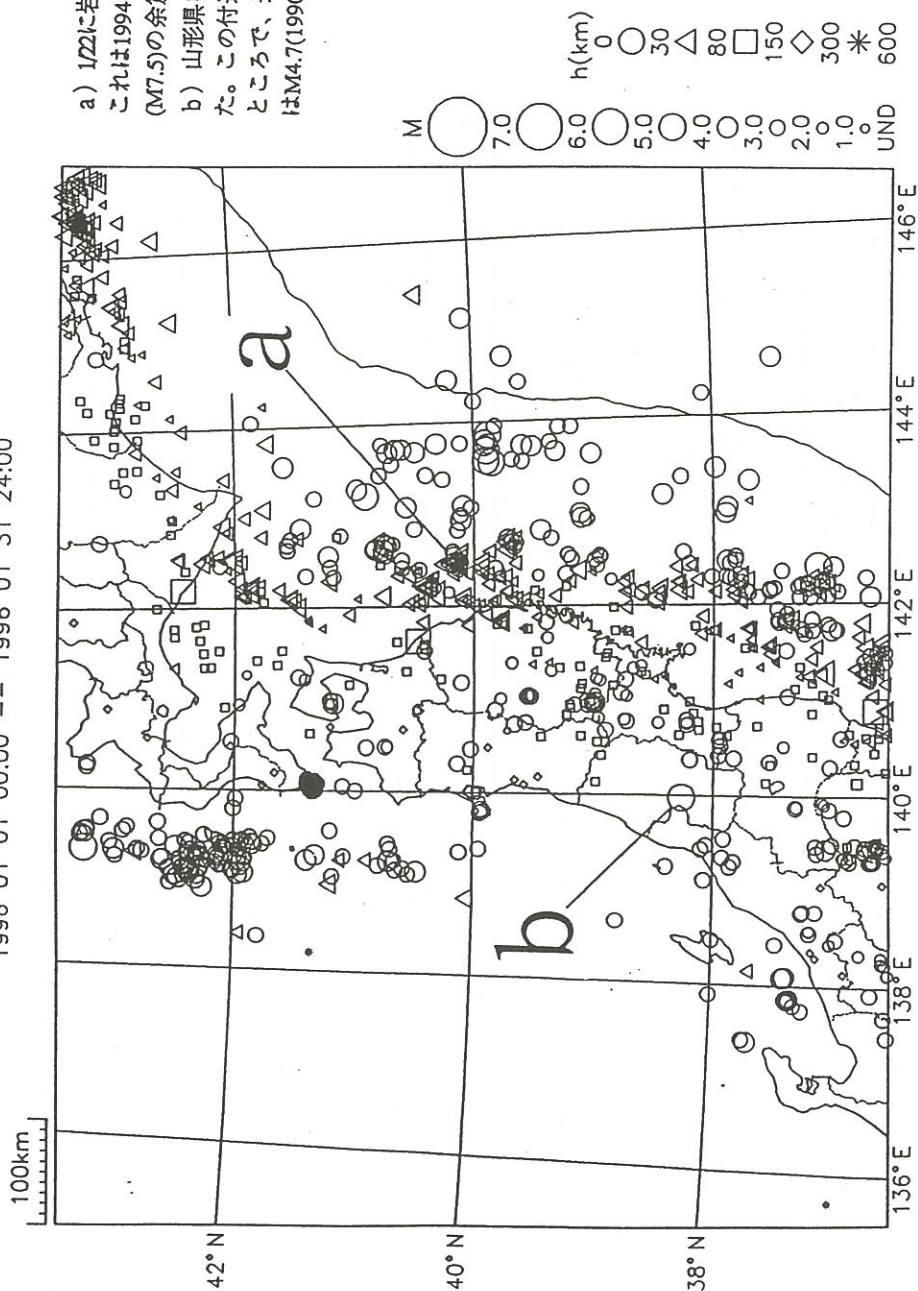
940023 (松前)



松前点が、北に約1cm移動したことが認められる。

東北地方

1996 01 01 00:00 -- 1996 01 31 24:00

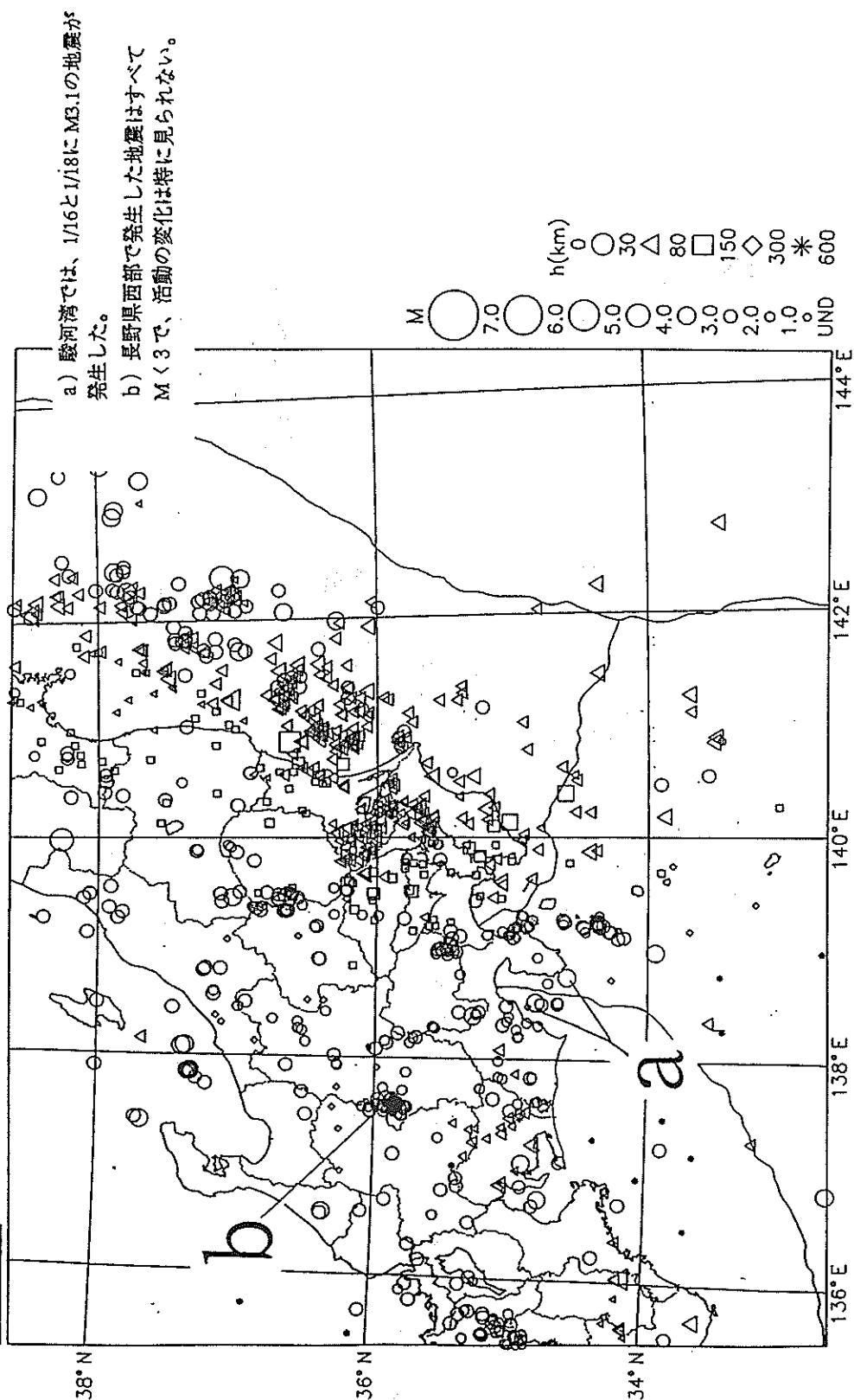


- a) 1/22に岩手県沖でM5.0の地震が発生した。これは1994年12月28日の三陸はるか沖地震(M7.5)の余震とみられる。
- b) 山形県中部で1/22にM4.2の地震が発生した。この付近は比較的地震活動レベルの低いところで、過去にM5.5(1944/12/7)、最近ではM4.7(1990/12/11)が発生している。

関東・中部地方

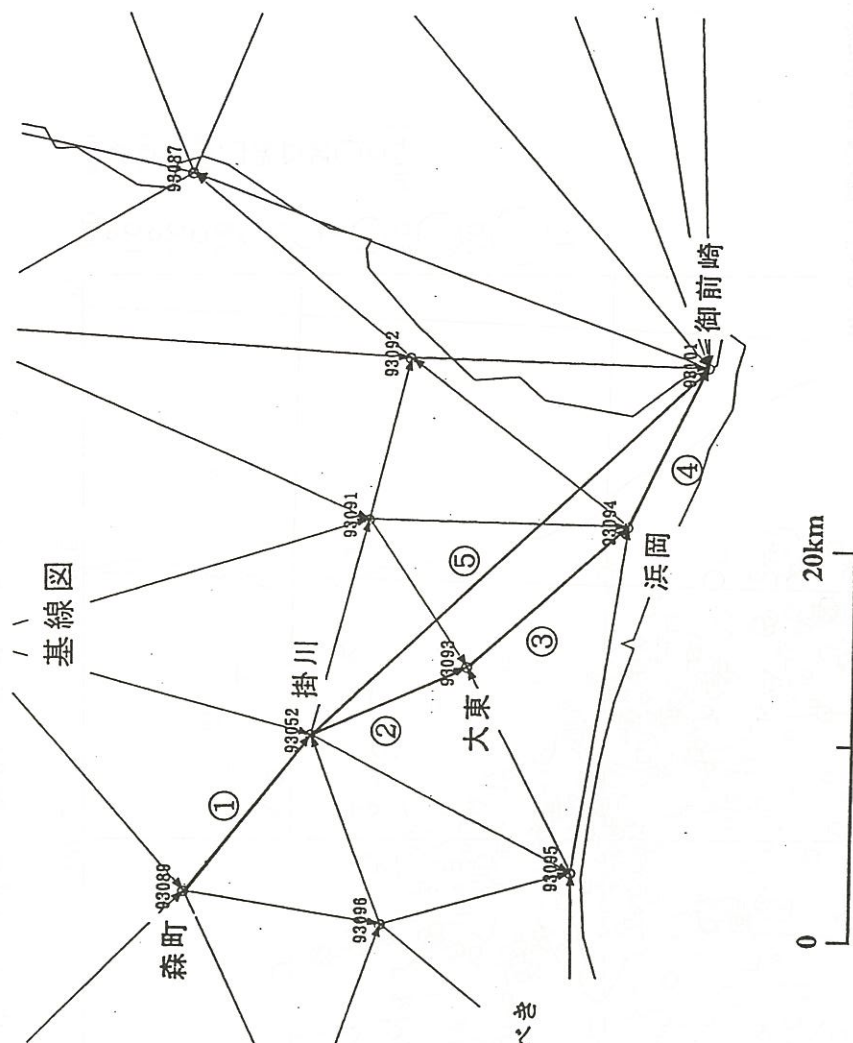
1996 01 01 00:00 -- 1996 01 31 24:00

100km



気象庁、東京大学、名古屋大学、防災科学技術研究所のデータを使用

GPS連続観測 掛川・御前崎周辺



基線長変化

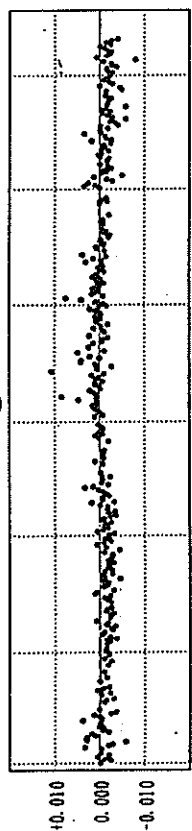
精密層使用

比高変化

1986年1月20日

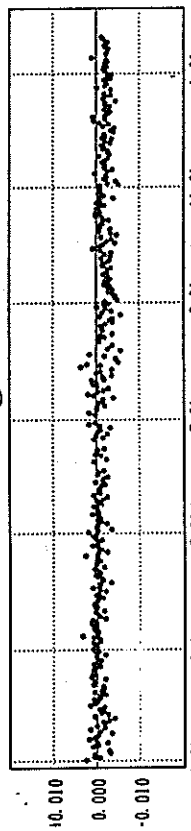
(*) 93089 → 93052 (森町 ~ 掛川) ①

基準値 : 10114.185m



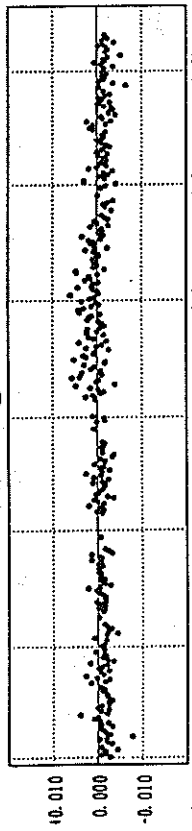
(*) 93052 → 93093 (掛川 ~ 大東) ②

基準値 : 8508.177m



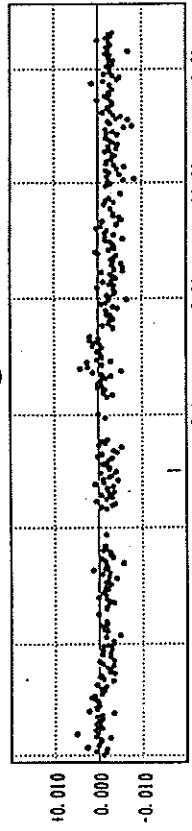
(*) 93093 → 93094 (大東 ~ 浜岡) ③

基準値 : 10611.491m



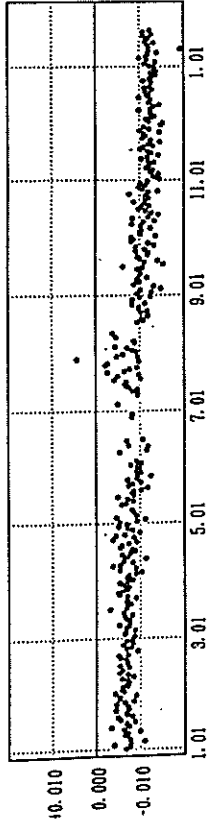
(*) 93094 → 93101 (浜岡 ~ 御前崎) ④

基準値 : 8950.016m



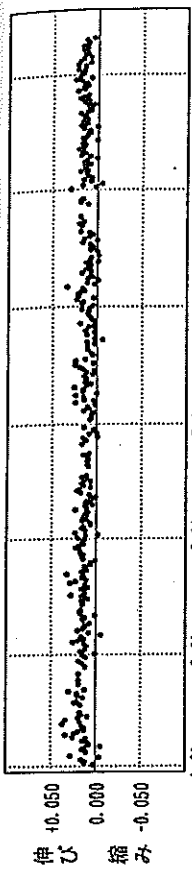
(*) 93052 → 93101 (掛川 ~ 御前崎) ⑤

基準値 : 27096.124m



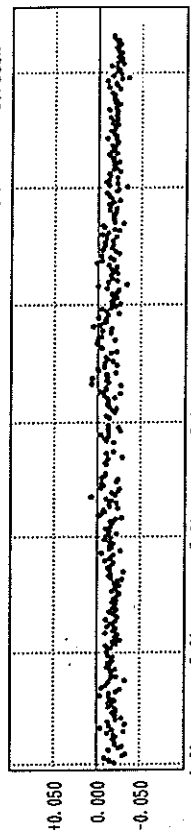
(*) 93089 → 93052 (森町 ~ 掛川)

基準値 : -6.431m



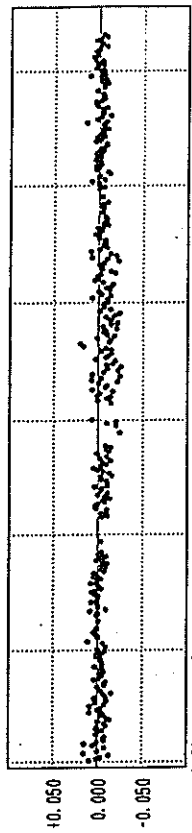
(*) 93052 → 93093 (掛川 ~ 大東)

基準値 : -37.998m



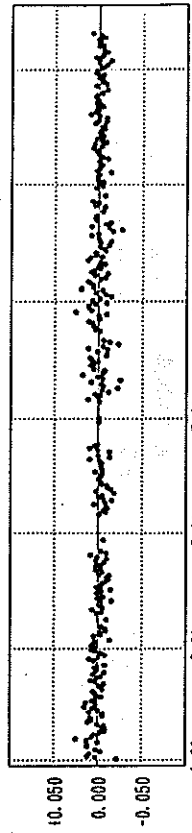
(*) 93093 → 93094 (大東 ~ 浜岡)

基準値 : 3.681m



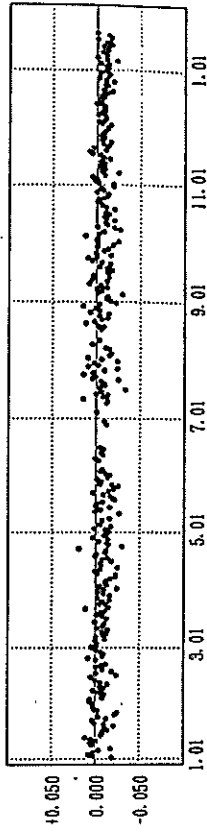
(*) 93094 → 93101 (浜岡 ~ 御前崎)

基準値 : 32.174m



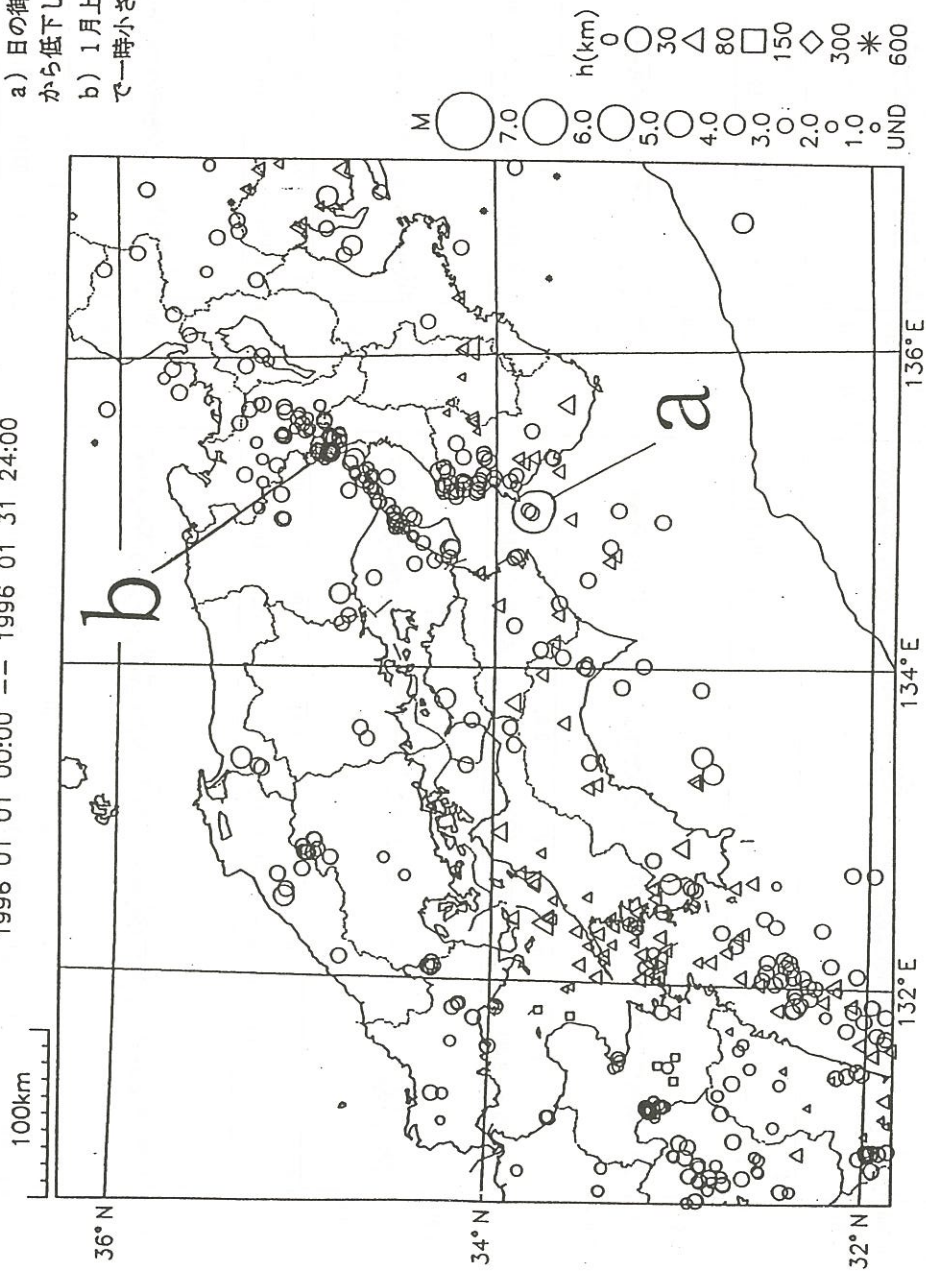
(*) 93052 → 93101 (掛川 ~ 御前崎)

基準値 : -2.153m



近畿・中国・四国地方

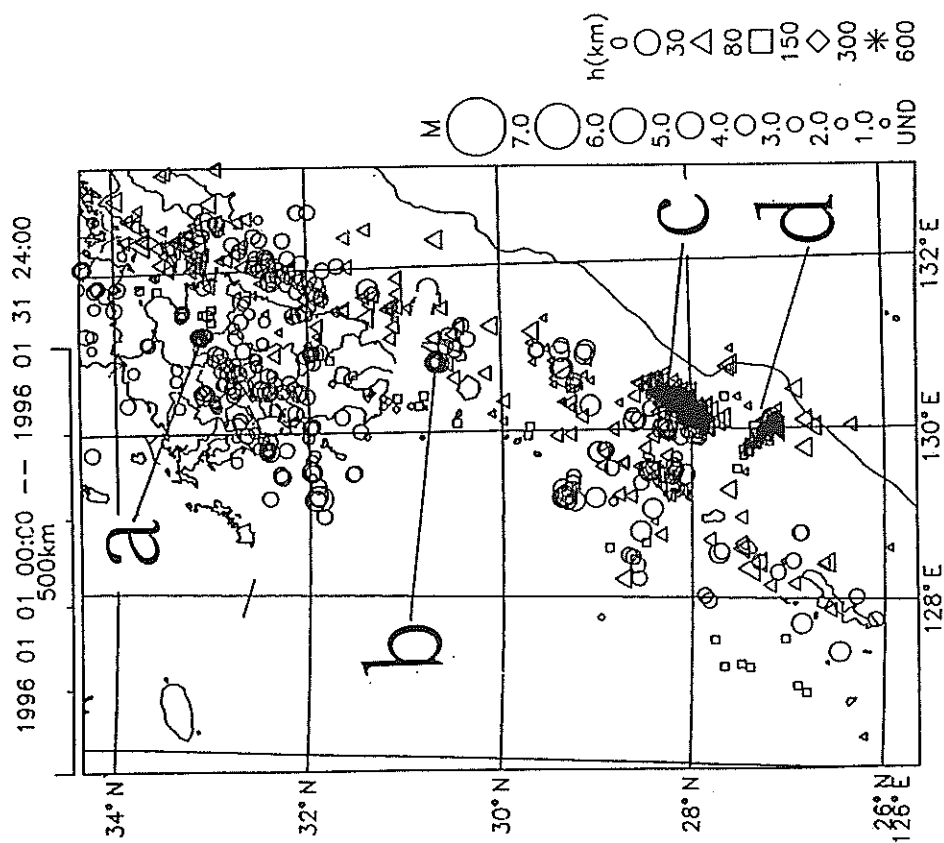
1996 01 01 00:00 -- 1996 01 31 24:00



a) 日の御岬沖の地震活動が1995/11半ばごろから低下している。。

b) 1月上旬に兵庫県南東部の猪名川町付近で一時小さな地震が多発した (最大M3.4)。

九州地方



- a) 1/13-1/14に大分県西部でM (3.0)の地震活動がみられた。
- b) 種子島付近で1/12からM2.3クラスの浅い(15km以浅)の地震活動があった。
- c) 奄美大島近海での活動は前半やや活発、後半は低下した。
- d) 1/6 M4.8 (深さ約90km) を含む活動で1/6-1/10に集中した。

沖縄地方

